



運賃
Fare
一律 **¥500**

※乳幼児無料。小学生(高校生まで)・高校生以上減額。障害者は¥300。
学生証・運転免許証・障害者手帳の提示が必要となります。

停留所以外でも、手をあげれば乗車が可能です!
Even if you are not at a bus stop, you can catch the bus by raising your hand.

宮古空港と
中心市街地を
結ぶ
限定運行
タクシー
！

・空港と中心市街地の移動がスムーズに！
・バスのように定額で乗車が可能！
・1日8便の頻度で運行！
・北ルート、南ルートの2コース設置！

タクシーに乗り合って、定期運行がとっても便利！
～乗合タクシーを活用した、路線バスのような運行サービス～

宮古島ぐるりんバス

宮古空港から中心市街地の移動をもっと便利にご利用いただくために、この度、沖縄総合事務局では、「乗合タクシーのサービス」を導入して二次交通の利便性向上に向けた実証実験をスタートいたします。
※乗客の乗降場所を事前に、コースの乗降場もお知らせいたします。

運行期間 Operation Period 2017年9月1日(金)～11月30日(木)

ルートマップ



○乗客の停留所の発着時刻を参考に、余裕を持ってお待ち下さい。○停留所や道路の広い安全な場所で待ち、バスが来たら、はっきりと手をあげて合図して下さい。○交差点付近や見通しの悪いカーブなど交通安全上、危険な場所では乗降できません。○降りる場所をお早めに乗員にお伝え下さい。○乗車や運転手が危険と判断した場合など、乗降できない場合があります。

時刻表 Time-table

北ルート(宮古空港→平良港行き)												
宮古空港ターミナル	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
野俣砂石所前(ドンキホーテ前)	9:07	10:07	11:07	13:07	14:07	15:07	16:07	17:07				
サンエー前	9:14	10:14	11:14	13:14	14:14	15:14	16:14	17:14				
市役所前	9:18	10:18	11:18	13:18	14:18	15:18	16:18	17:18				
公設市場前	9:22	10:22	11:22	13:22	14:22	15:22	16:22	17:22				
平良港	9:25	10:25	11:25	13:25	14:25	15:25	16:25	17:25				
南ルート(平良港→宮古空港行き)												
平良港	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30	16:30					
公設市場前	9:33	10:33	11:33	13:33	14:33	15:33	16:33					
市役所前	9:37	10:37	11:37	13:37	14:37	15:37	16:37					
サンエー前	9:41	10:41	11:41	13:41	14:41	15:41	16:41					
野俣砂石所前(ドンキホーテ前)	9:48	10:48	11:48	13:48	14:48	15:48	16:48					
宮古空港ターミナル	9:55	10:55	11:55	13:55	14:55	15:55	16:55					
南ルート(平良港→宮古空港行き)												
平良港	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
実業高校前(宮古港前)	9:05	10:05	11:05	13:05	14:05	15:05	16:05	17:05				
市場通り入口バス停前	9:08	10:08	11:08	13:08	14:08	15:08	16:08	17:08				
サンエー・カマサヒビル前(バス停前)	9:13	10:13	11:13	13:13	14:13	15:13	16:13	17:13				
イオンタウン前	9:17	10:17	11:17	13:17	14:17	15:17	16:17	17:17				
宮古空港ターミナル	9:26	10:26	11:26	13:26	14:26	15:26	16:26	17:26				
南ルート(宮古空港→平良港行き)												
宮古空港ターミナル	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30	16:30					
イオンタウン前	9:39	10:39	11:39	13:39	14:39	15:39	16:39					
サンエー・カマサヒビル前(バス停前)	9:43	10:43	11:43	13:43	14:43	15:43	16:43					
市場通り入口バス停前	9:48	10:48	11:48	13:48	14:48	15:48	16:48					
実業高校前(宮古港前)	9:51	10:51	11:51	13:51	14:51	15:51	16:51					
平良港	9:56	10:56	11:56	13:56	14:56	15:56	16:56					



- 1 キラッと沖縄 琉球泡盛を欧米へ ―ハードリカープロジェクト参画企業と寺家経済産業部長との座談会―
 - 5 特集 沖縄の渋滞対策の取り組みについて
 - 7 仕事の窓1 下請法基礎講習会 ～宮古島で開催!!～
 - 仕事の窓2 財政講演会「我が国の財政の現状」
 - 8 仕事の窓3 管内経済情勢報告(平成29年10月) ～管内経済は、拡大している～
 - 10 仕事の窓4 「仮想通貨」に関する新しい制度が開始されました
 - 仕事の窓5 多重債務者相談強化キャンペーン2017 ～一人で悩まず相談を～
 - 11 仕事の窓6 農泊シンポジウム(沖縄ブロック)
 - 仕事の窓7 平成28年度「食料・農業・農村白書」「食育白書」「森林・林業白書」「水産白書」に関する沖縄ブロック説明会
 - 12 仕事の窓8 農林水産部の就業体験実習
 - 13 仕事の窓9 農業者の皆さん!しっかり積立、がっちりサポート! 農業者年金で安心・豊かな老後を
 - 14 仕事の窓10 沖縄大交易会オフィシャルセミナー
 - 仕事の窓11 『沖縄産官学イノベーションフォーラム2017』を開催しました
 - 15 仕事の窓12 経営支援セミナー
 - 仕事の窓13 牧港高架橋の最後の橋げたを架設しました
 - 16 仕事の窓14 「宮古島くるりんバス」の実証運行について
 - 仕事の窓15 平成29年度 船員労働安全衛生月間の実施
 - 17 仕事の窓16 安全な車社会のために(街頭検査について)
 - 18 仕事の窓17 将来の船員確保・育成のために就業体験、体験学習を実施
 - 19 内閣府だより 平良港国際クルーズ拠点整備事業起工式を開催
 - お知らせ 人事異動
 - 21 お知らせ 消費税の転嫁拒否行為に関する説明会・相談会
- 11月は「建設業取引適正化推進月間」です ～みんなで守る適正取引～

キラッと 沖縄 OKINAWA

連携協定締結式



連携協定を締結した4社

参加者

忠孝酒造株式会社 代表取締役社長 大城 勲
瑞泉酒造株式会社 代表取締役社長 佐久本 学
株式会社久米島の久米仙 代表取締役社長 島袋 正也
株式会社Blueship沖縄 代表取締役 慶松 大海
内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 寺家 克昌

琉球泡盛を欧米へ

―ハードリカープロジェクト参画企業と 寺家経済産業部長との座談会―

ます。
去る九月一日に、四社は海外展開の取り組みを本格化させるため、「琉球泡盛ブランド構築(ハードリカープロジェクト)」に関する連携協定を締結しました。

沖縄総合事務局経済産業部では、海外展開を行う企業を支援する沖縄国際ハブクラスター事業の一環で、忠孝酒造(株)、瑞泉酒造(株)、久米島の久米仙及びBlueship沖縄の四社が取り組む琉球泡盛の海外展開事業をサポートしてい

連携協定に至った 経緯について

寺家部長 はじめに、本日お集まりいただきありがとうございます。県内の泡盛出荷量が平成十七年以降十二年連続で前年比を下回っている中、本日お集まりいただいた四社は、「琉球泡盛ブランド構築(ハードリカープロジェクト)」に関する連携協定を

を締結され、一緒に琉球泡盛の海外展開に取り組まれています。これまでは競争関係にあった中で連携になるわけですが、その経緯について、まずは三社に泡盛メーカーの視点から説明していただき、ブルーシップ沖縄から三社の繋ぎ役としての立場で連携協定締結の経緯を説明していただきたいと思います。

表紙写真

牧港高架橋の最後の

橋げた架設が完了

く開通にむけて着々と進む
浦添北道路



一般国道58号浦添北道路(宜野湾市宇地泊・浦添市港川)の牧港高架橋において、巻き上げ機による一括架設では沖縄県内で最大級の橋桁の架設が本年8月下旬に行われました。

浦添北道路と那覇港浦添ふ頭地区臨港道路浦添線(浦添市港川・浦添市西洲)は、本県最大の幹線道路である国道58号の渋滞緩和等に向けて工事を進めており、今年度(平成29年度)開通の予定です。架設の様子を本号で紹介していますのでご覧ください。



忠孝酒造(株) 大城社長

大城社長 昨年度、泡盛メーカー三社とブルーシップ沖縄が連携し、海外のブランディングチームを招聘しました。ブランディングチームによるヒアリングや視察から、改めて泡盛がもつ可能性を実感しました。琉球泡盛のブランド価値は年々低下し、県外消費は約半分、県内消費は六割に減少、海外出荷はほとんど無いに等しい状況です。このような中、一社で海外戦略に取り組むのは困難であり、三社が連携することで、海外におけるブランド構築ができると期待しています。

島袋社長 弊社は、十五年程前から海外への出荷に取り組んでいますが、泡盛は何千何万とある酒類のひとつでしかなく、しかも日本のお酒という小さな島のお酒で

あり、海外で売り出すのは難しいと感じました。

今回、ブルーシップ沖縄の積極的な働きにより、一社では厳しかった海外市場の開拓が、メーカー三社が連携し力を合わせることで可能性が見えてきたと感じています。

佐久本社長 弊社でも、二〇〇二年頃から海外出荷に取り組み始めました。海外では「泡盛とは何か」というところから説明する必要があります。泡盛を広めるには、一社だけでは費用や人員確保等困難な部分が多いため、数社がまとまって取り組んでいければと考えます。その第一歩が連携協定だと思っています。

慶松代表 メーカーから話を伺うと、国内では非常に努力をしており、様々な試みを既に実施しているというのはひとつの答えでした。しかし見渡してみると、実は多くのメーカーが、海外という真つ白な市場に行くのがいいのではというアイディアを持っています。

昨年度招聘した海外のブランディングチームは、各メーカーか



ブランディングチームとの記者会見（平成29年1月7日）

場を取りに行く大きな挑戦であり、非常に可能性があると思っています。

寺家部長 先日、連携協定を締結された際、将来の目標として、海外で百億円の売上げという数字を掲げられました。

大城社長 テキーラが二千億円、ウォッカが三千四百億円の市場があると考えれば、世界で百億円という数字は夢ではないし、不可能な数字ではないと考えました。泡盛



㈱Blueship沖縄 慶松代表

ら聞いた話にとっても感動していました。泡盛にこれだけの歴史や携わる人の真剣な取り組みがあり、こんなに素晴らしいストーリーがあるなら、世界で戦い、勝てるものを持つていけると確信し、一緒に取り組んで行こうと話がまとまりました。

プロジェクトを実施するためには、各メーカーが腹の内を明かし情報交換する必要があります。それであれば、連携協定というきちんとした形をつくり、ひとつになつて泡盛業界全体を背負って取り組んで行きたいと考えました。

連携協定の意義について

寺家部長 では、今回の連携協

のハードリカーとしてのブランドを構築できれば、その数字は達成できるでしょう。

慶松代表 大城社長がよく仰っています、世界のバーに並べば、日本酒や焼酎といった他の国酒とパッシングしません。バーに置きたいというのは、大城社長の夢でもあり、我々の共通の目標でもあるので、これをまずは成し遂げるという目標を掲げ、百億円という数字が一つの目安となりました。

寺家部長 今回、思いをひとつにする四社ということで、それぞれ特徴や強みがあり、四社が組むことであるということができるがあると思うのですが、その辺についてはいかがでしょうか。

慶松代表 各社それぞれ長い歴史を持つており、泡盛というカテゴリーの重なりは当然ありますが、独自性をしっかりと持つメーカーが集まったことに必然性を感じています。

四社が一丸になって世界の扉を開けていくことが、このプロジェクトであり、この四社協定の目指しているものです。

定の意義について、連携協定に對する皆さんの思いをお願いします。

島袋社長 やはり、一社では無理だということです。我々は会社の代表であり、泡盛業界を伸ばしていきたいという気持ちは同じだと感じました。今後の泡盛業界をどうやって良い方向に持って行くかと考えたとき、その一つが今回の連携協定となりました。まずはアイスランドへの展開を第一弾として取り組み、将来的にはアメリカを目指し、NYで泡盛のブームをつくりたい。そしてNYから日本への逆輸入となれば、それが泡盛の広がりに繋がると考えました。

佐久本社長 泡盛のマーケットが広がれば、三社だけではなく、



瑞泉酒造㈱ 佐久本社長

寺家部長 過去、一社がそれぞれで取り組んだがうまくいかなかった、定着しなかったというご経験をされた上で、四社が力を合わせれば、できなかったこともできるのではと思います。今回はおもしろいターゲットで、ハードリカーとして売り込むという戦略も新しく、画期的な取り組みと感じています。

今後の方向性・可能性について

寺家部長 今回、連携協定を締結したことは意義があることだと感じています、言い換えれば、まだスタートラインに立った時点というところ。先ほど、アイスランドミツシヨンの話も出ましたが、これからどうやって戦略を描くか、事業化に繋げるかが課題になると考えます。皆さんが考える今後の進め方、目標を含めて、お話しいただきたいと思っています。

島袋社長 まずは十一月にアイスランドに行くので、現地市場を見てみたいと思います。日本、沖縄

他のメーカーも好調になります。

この連携協定を足がかりとして、三社がファーストペンギンになる取り組みだと思っています。その思いは三社で一致しているとはいえず、国内市場においてはライバルなので、ブルーシップ沖縄にはバランスをうまくとる役割を担ってもらっています。四社連携協定の意義はそこにもあると考えます。

寺家部長 最終的には自社のためになるというのはもちろんだとは思いますが、今回の海外展開の取り組みは、業界全体のためになる突破口を開く、業界全体のことを考えた取り組みということですね。

大城社長 まさしくそのとおりです。泡盛をどのように売ればいいのかと考えたとき、日本食料理店に焼酎や日本酒が出ている中、新たに泡盛を売り込むことは厳しいと考えました。それであれば、蒸留酒であり、ウォッカやジンと同じハードリカーであるという泡盛の特性を活かして売り出す可能性がないかと考えました。それが、このハードリカープロジェクトです。ハードリカーという新たな市



㈱久米島の久米仙 島袋社長

で売れているから海外でも売れるかというところではありません。現地の人、観光客も多いと聞いているので、彼らが現地の酒場でどのような飲み方をしているか、どのような食材と飲まれているのか、どのような雰囲気でお酒を飲んでいるのか、それを四社で見たいと考えます。それを踏まえ、ブランディングチームに現地で通用するボトル、ラベルデザインを作ってもらいたいと考えています。

佐久本社長 泡盛という中身は変わりませんが、それをどのように形づけて見せていくか、現地の人たちに合わせたデザインやプロモーションで、沖縄の良さをどう見せ、どう伝えるかということが、一番のミツシヨンのことと考えています。

沖縄の渋滞対策の 取り組みについて

沖縄の道路渋滞については、那覇市のピーク時平均旅行速度が全国の県庁所在地の中で最も遅く、自動車保有台数や観光客の増加などにより、今後も渋滞の深刻化が懸念されています。深刻な沖縄の渋滞を一日も早く解消するため、「沖縄の新たな交通環境創造会議」を設置し、有識者懇談会で提言をいただいた渋滞削減に向けた62プロジェクトについて、ロードマップを策定するとともに、6つの早期成果実現課題（①渋滞ボトルネック対策、②基幹バスの導入・バス網の再編、③バス運行定時性の確保、④バス・ターミナルなどの整備促進、⑤道路空間の再編（国際通り）、⑥県民意識への効果的な働きかけ）を選定しました。今回は、早期成果実現課題に関する取組事例の一部を紹介いたします。



わった～バス大実験の分析結果速報

沖縄県では移動手段の約9割が自家用車に依存していることから、県民意識をマイカーから公共交通機関利用へ変えるべく「わった～バス大実験」と銘打って実証実験（9/16～9/22）を行いました。実験参加者は企業などへ呼びかけて参加を募り、約1900人のご協力をいただきました。今回は実験結果の速報値としてとりまとめた結果をご紹介します。

アンケートの結果によると、約4割弱の方が実験した取組内容（公共交通通勤や時差出勤など）を継続したいと言っており、理由としては、時間を有効に使える、ストレスがなくなるなどがあり、実験を通じて公共交通利用のメリットを体感した結果と思われます。（図1）

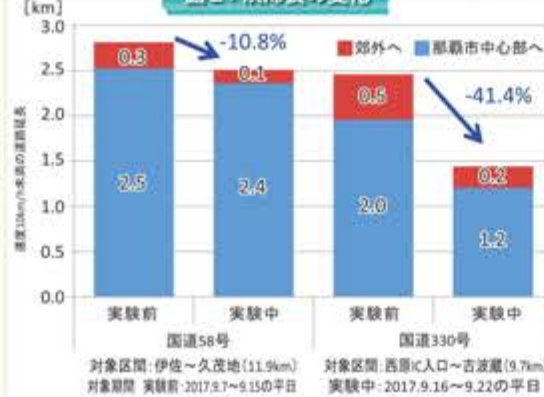
また、旅行速度などのビッグデータの分析では、実験期間中は通常時と比較し、渋滞長の短縮や平均旅行速度の向上が確認されました。（図2）

今回の実験での行動変化が、数値的に渋滞緩和に影響を与えたことは、興味深い結果となっており、引き続き詳細な分析を行い、実験結果を公表する予定です。

図1：今後も継続したい理由



図2：渋滞長の変化



泡盛の良さは万国共通と感じており、フランスワインのような世界が泡盛で実現できれば、様々な経済波及効果が出てくると感じています。沖縄に生まれ、それが一番の恩返しになると考えています。

大城社長 今回ターゲットをアイスランドに絞った理由は、ブランドイングチームのメンバーにアイスランド人がいること、それに加え、在アイスランド日本大使館や酒類販売の国営企業といった現地の協力体制があること、観光地であるため欧州・米国の観光客の反応を見ることができるとのこと、我々にとってこんなにおもしろい機会はないだろうと考えています。

アイスランドである程度のかたちが見えれば、最終的には米国を目指したいと考えています。NYマンハッタンのパールで泡盛が並び、セレブに飲まれる状況ができれば、東京に逆輸入され、六本木や銀座のバーに並べられます。日本国内における泡盛の復活に繋げることも、我々の大きなテーマ



寺家経済産業部長

慶松代表 ゴール、目標としては、NYのバーに並ぶこと、それは百億円の上上げを達成することです。NYのバーに並ぶというのは、一軒のバーに置かれることではなく、泡盛を飲むことが習慣になる、もしくは、ハイクラスの客層を持つバーには泡盛が置かれている状況になるということです。そのためには、ある程度の知名度がないといけないので、そのための戦略をとる必要があります。それが現在ターゲットとしているアイスランドで、泡盛を販売し、バーに並べるための活動を通し、知見を広めていくことです。

アイスランドへ輸出していかねば、NYに行く知見も得られませんので、まずはアイスランド

の目標から達成していき、市場に並ぶイメージを我々が持つことが重要なことだと考えています。

寺家部長 ありがとうございませう。国内マーケットが減少していく中、今回マイカーそれぞれの特徴、強みを活かして四社でこのプロジェクトに取り組むことで、可能になると考えます。泡盛の特徴を前面に出して、日本酒、焼酎とは異なるマーケットであるハードリカーの市場を狙う戦略は、新しいチャレンジであり、目の付け所が非常に素晴らしいと感じています。最終的な目標である米、NYのバーに並び、それが日本に逆輸入されるというゴールを見据え、現在百億円の売上げという目標を掲げていますが、ブレークスルーすれば、ハードリカーの市場が大きいだけに、それ以上の数字になるのではと期待しています。そうであれば、メーカー三社にとどま



連携4社と本プロジェクトをサポートする泡盛海外展開支援連絡会議のメンバー（平成29年9月1日連携協定締結式）

ならず、琉球泡盛業界全体の活性化に繋がります。今回締結された連携協定は、琉球泡盛業界にとっても、期待できる取り組みだと感じています。

我々も、サポートできることについてはしっかりとサポートしていきます、この四社の取り組みが成功することを大変期待しています。本日はどうもありがとうございます。

公正取引委員会は、従来、下請代金支払遅延等防止法（以下「下請法」といいます。）の的確な運用を行うとともに、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」と定め、全国の県庁所在地などにおいて「下請取引適正化推進講習会」を実施するなど、違反行為の未然防止の観点から、普及・啓発活動を実施しています。



講義の様子

取引先による支払遅延や返品など下請法や優越的地位の濫用に関して、何かお困りのことがありましたら、お気軽に総務部公正取引室までご相談ください。



踏まえ、さる10月18日、沖縄県宮古島市において親事業者を対象とした下請法の基礎的な説明を行う講習会を開催しました。

参加者からは、「社内研修を実施するなどして下請法の意識の向上を図りたい。」「下請法の取引について問題があれば直ちに改善を図りたい。」などの意見が寄せられました。

仕事の窓

【総務部】

下請法基礎講習会 宮古島市で開催!!

☎098-866-0049



8月9日、財務省主計局から青木孝徳総務課長を講師に、県内経済界や行政機関などから多数の方々に参加いただき、財務部主催による財政講演会を開催しました。

青木課長からは、我が国の財政の厳しい現状、特に、増加する社会保障関係費について、財政構造の国際比較、我が国の財政健全化目標、社会保障と税の一体改革など様々な項目を取り上げながら、予算編成作業に携わってきた経験を踏まえた熱のこもった説明が行われました。

仕事の窓

【財務部】

財政講演会 「我が国の財政の現状」



参加者からは、「日本の財政状況がよく理解できた」、「消費税増税の必要性を再認識することができた」など、有意義であったとする意見が多数寄せられました。

今後も財務部では、我が国の財政状況や財政健全化に向けた政府の対応状況などについて、地域の皆様が、より一層理解を深めることができるよう取り組みを進めてまいります。

財務部理財課

☎098-866-0092



自動運転導入の検討



今年3月の南城市に続き、6月に石垣市でのバス自動運転実証実験を行いました。

その実験では全国初の試みとして一般の方に乗車してもらい、アンケート調査では、「安心・ほぼ安心して乗車できる」、「カーブなど普通バスと遜色なく滑らか」、「発進・停車は少し急」、将来性については「ある程度期待できる」などの意見をいただきました。



バス自動運転の様子(石垣市)

その結果を踏まえて

- 11月下旬頃 沖縄本島内においてバス自動運転実証実験を予定しています。
- 実験項目の内容 走行ルート車線維持制御、高精度3次元地図を利用した走行制御、路面に設置した磁気マーカー利用による正着制御の検証などを予定しております。



観光客向け移動支援 情報提供サービスの検討



増加する訪日外国人を含む観光客の交通手段に関する利便性の向上を図るため、交通結節点や観光地などにおいて、観光客を対象とした情報提供に関するニーズ調査を実施しました。

その結果を踏まえて

- 11月下旬頃 ICTなどの新たな技術を活用した移動支援情報提供サービスの実証実験を行う予定です。

実証実験では

一般公募で参加企業者を募り、道の駅「豊崎」で一般に公開を行い、実験結果を取りまとめて公表する予定です。

沖縄総合事務局では、今後も関係機関と連携し、公共交通の利用促進など交通環境がより使いやすくなる様々な取り組みを実施して参りますので、ご協力をよろしくお願い致します。

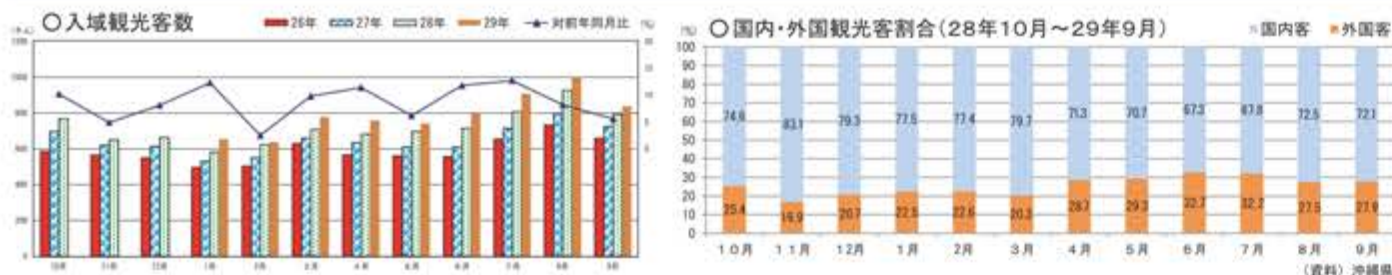


観光客ニーズ調査状況(那覇バスターミナル)

観光

前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回との比較
拡大している	拡大している	→

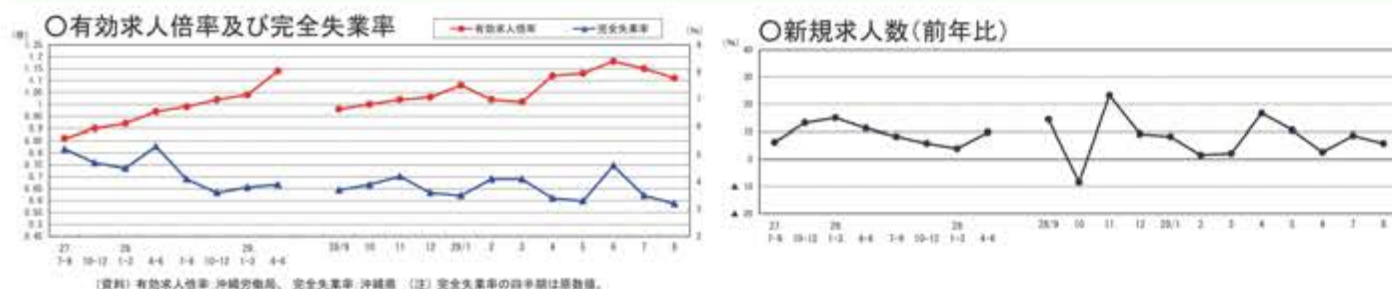
入域観光客数は、国内客は個人旅行を中心とした好調な旅行需要により増加しており、外国客は航空路線拡充及びクルーズ船の寄港数の増加などにより大幅に増加していることから、47ヶ月連続で単月の過去最高を記録している。ホテルの客室稼働率は前年と同水準となっており、客室単価は前年を上回っている。このように、観光は拡大している。



雇用情勢

前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回との比較
改善している	改善している	→

新規求人数は、医療・福祉業、建設業など多くの業種で前年を上回っており、新規求職者数（新規求職申込件数）は前年を下回っていることなどから、有効求人倍率（季節調整値）は上昇している。このように、雇用情勢は改善している。



【その他の項目の判断】

設備投資

29年度の設備投資計画額を法人企業景気予測調査(29年7～9月期)で見ると、全産業では前年度を45.6%上回る見通し(石油・石炭、電気・ガス・水道を除くと58.4%上回る見通し)となっている。

企業収益

経常利益を法人企業景気予測調査(29年7～9月期)で見ると、29年度上期は、全産業で1.3%の減益見込みとなっている。29年度下期は、全産業で6.9%の増益見通しとなっている。29年度通期は、全産業で2.3%の増益見通しとなっている。

企業の景況感

企業の景況判断BSIを法人企業景気予測調査(29年7～9月期)で見ると、全産業で、「上昇」と「下降」の均衡から「上昇」超となっている。業種別にみると、製造業では、「下降」とする企業が減少していることから「下降」超から「上昇」超に転じている。非製造業では、建設、運輸・郵便、卸売・小売などで「上昇」とする企業が増加していることなどから「上昇」超幅が拡大している。

住宅建設

新設住宅着工戸数は、分譲で前年を下回っているものの、持家、貸家で前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

公共事業

公共工事前払金保証請負額(29年4～9月累計)は、前年を上回っている。

生産活動

食料品は前年を上回っている。窯業・土石、金属製品は公共工事や民間工事の需要を背景として前年を上回っている。化学・石油製品は前年を上回っている。このように、生産活動は持ち直している。

管内経済情勢報告

(平成29年10月)

～管内経済は、拡大している～



経済調査室長
金城 満



【財務部】

【総括判断】

前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回との比較
拡大している	拡大している	→

個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が堅調に推移するなど、緩やかに拡大している。観光は、引き続き国内客や外国客が増加し、入域観光客数は47ヶ月連続で単月の過去最高を記録するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率（季節調整値）が上昇するなど、改善している。
(注) 29年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

先行き

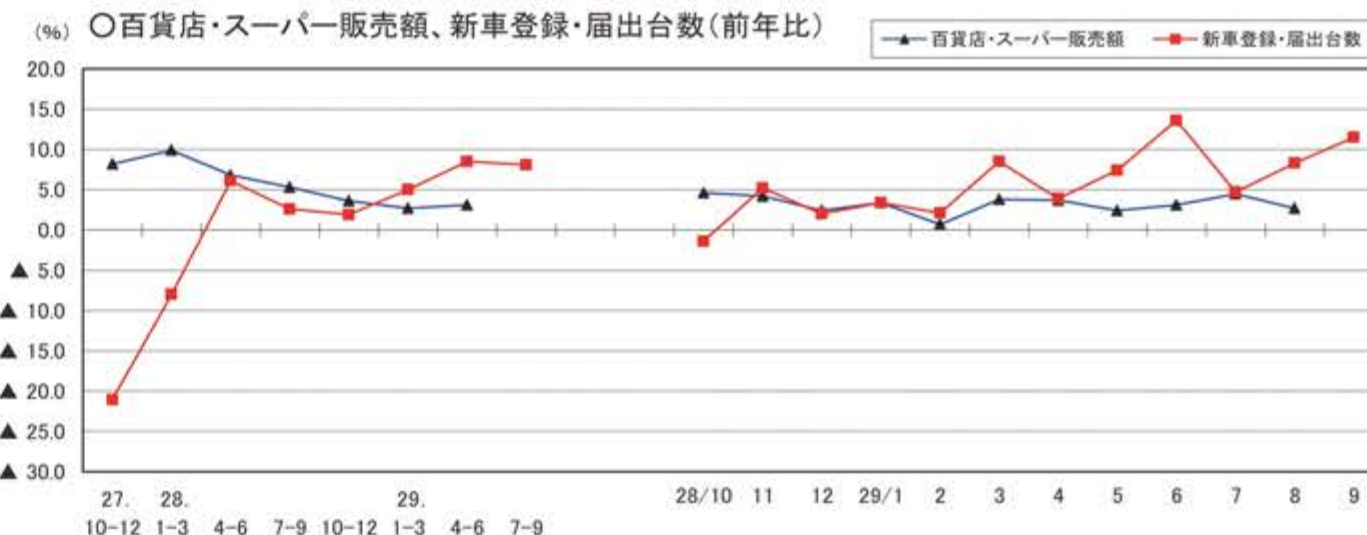
先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、沖縄振興策などを背景として景気が拡大していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れリスク、為替や労働力需給の動向などについて留意する必要がある。

【主要項目の判断】

個人消費

前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回との比較
緩やかに拡大している	緩やかに拡大している	→

百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が堅調に推移しているほか、店舗改装効果などから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果のほか、ファストフードが堅調なことなどから前年を上回っている。新車販売台数は、新型車効果などから前年を上回っている。中古車販売台数は、販売促進効果などから前年を上回っている。家電販売額は、エアコンなどが好調であることから前年を上回っている。このように、個人消費は緩やかに拡大している。



農業者の皆さん！ しっかり積立、がっちりサポート！ 農業者年金で安心・豊かな老後を

農業者の皆さん、農業者のための公的年金である農業者年金制度をご存じですか？

豊かな老後生活のためには、農業者等自営業者の方が加入している国民年金だけでは十分とは言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。

税制面での優遇措置や担い手への保険料の国庫補助など農業者へのメリットがたくさんある農業者年金への加入を是非ご検討ください。

【農林水産部】



あなたの老後生活への備えは十分ですか？

国民年金だけでは
足りないんだね



●こんなにかかる老後生活（現金支出で年額約286万円）

→ 高齢農家世帯（世帯主が65歳以上の夫婦2人）の家計費は現金支出で月額約23～24万円が必要となります。

●国民年金の支給額は年額約156万円

→ 農業者の皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年加入で月額約6万5千円、夫婦あわせて月額約13万円です。

国民年金だけでは十分と言えない老後の生活費。国民年金プラス農業者年金で老後に備えましょう！

農業者なら知っておきたい

農業者年金の特徴

1 農業に従事されている方は誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を！
今、女性の加入者が増えています

2 保険料は自分で選べ、いつでも見直せます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万円～6万7千円の間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。



3 税制面で大きな優遇措置があります

●支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税、住民税が節税になります。

（支払った保険料の15%～30%程度が節税）

●農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益（保険料の運用益）は非課税です。

●将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。

（65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までの場合は、全額控除できます。）

つまり入口から出口まで税制上の優遇措置があります



4 少子高齢時代に強い年金。年金資産は安全性を重視して運用しています

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」の年金です。少子高齢化が進んでも制度の安定性は損なわれません。

※年金の運用は、安全性を重視した運用方法が特徴であり、準備金の仕組み等も導入されています。



5 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。仮に80歳前に亡くなられた場合でも80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額がご遺族に死亡一時金として支給されます。

6 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告者や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額最高1万円）があります。この国庫補助額に見合う年金は、農地等の経営継承をすれば原則65歳から特例付加年金として受給できます。農地等の経営継承の時期については年齢制限はなく、本人の体力などに応じて受給の時期を決められます。

認定農業者に
なったら良かった！

認定農業者等農業
の担い手の皆様への
特別な支援です



農業者年金の内容やご相談については、市町村の農業委員会または、JAおきな各支店が窓口となっています。窓口では年金受給額がいくらになるのかのシミュレーションも行いますのでまずはお気軽にお問い合わせください。

農林水産部経営課 098-866-1628

受入先	期 間	実習生所属先
土地改良総合事務所	8月21日～9月1日	神戸大学、筑波大学、弘前大学
宮古伊良部農業水利事業所	9月4日～9月15日	琉球大学
石垣島農業水利事業所	9月4日～9月15日	岡山大学、神戸大学
農政課	9月25日～9月29日	琉球大学
生産振興課	9月25日～9月29日	琉球大学

農林水産部では、8月21日から9月29日までの期間で、次表の大学から8名の学生を受け入れ、就業体験実習を行いました。



農林水産部の 就業体験実習

実習生は、各受入先から業務概要説明を受け、地下水位や施設機能診断に関する調査業務、地下ダムでの測量体験実習、作物別経営収支や畜産物価格の分析業務、農業体験実習などを行いました。また、最終日には、各受入先で実習成果発表会が開かれ、実習生から業務体験や現場視察などを通して得られた成果や課題などについて発表が行われました。

実習後のアンケートでは、「緊張と不安でいっぱいだったが、職場の雰囲気良かったため安心して実習に臨めた。」「大学で学んできた知識が、どのように活用されているのか知ることができた。」「この経験を自分がどの仕事を選ぶか考えるときに、活かしていきたいと思った。」「様々な工事及び生産現場に行くことができ、良い経験になった。」などの感想がありました。

農林水産部では、今後も全国各地の大学などから学生を受け入れ、学生の学習意欲を喚起し、高



畜産農家での現地調査の様子



沖縄水産高校でのウニ養殖実験の視察の様子



ハーブ農家での農業体験実習の様子



地下ダム工事現場での測量体験実習の様子

い就業意識を育成するとともに、沖縄総合事務局及び農林水産業への理解を深めてもらうこととしていきます。

農林水産部農政課
☎098-866-1627

農林水産部生産振興課
☎098-866-1653

農林水産部農村振興課
☎098-866-1652

10

沖縄大交易会 オフイシャルセミナー 「基礎から分かる貿易実務・海外展開 における知財保護の留意点」の開催

沖縄総合事務局経済産業部では、産学官金ネットワーク「沖縄国際ハブクラスター」を形成し、海外市場に向けたビジネスを展開する県内事業者などの取組をサポートしています。本事業の一環として、沖縄大交易会オフイシャルセミナー「基礎から分かる貿易実務・海外展開における知財保護の留意点」を開催いたしました。

セミナーの導入部分では、貿易の流れや食品輸出に関する相談窓口について沖縄総合事務局農林水産部食料産業課の川平綾係長から説明いたしました。

第一部の貿易実務パートでは、アイスリンク代表取締役の曾我しのぶ氏を講師としてお招きし、輸出手続き業務の流れや輸出価格の算定方法といった基礎的な貿易実務に加え、商談当日に向けた事前準備や心構えについてご説明いただきました。

第二部の知的財産パートでは、日本貿易振興機構（JETRO）知的財産・イノベーション部総括課長代理の秋葉隆充氏から、自社商品の商標を守る上での留意点について、実際の事例紹介を交えながらご説明

いただきました。

セミナーに参加された方々からは、「事前準備が商談を左右することが分かったので、本セミナー受講を契機に商談に向けしっかりと準備に取り組みたい。」「貿易実務や商標制度についての説明が、具体的に分かりやすくて大変良かった。勉強になった。」「などの声があり、セミナーに対する満足度の高さが窺えました。



セミナーの様子

11

「沖縄産学官イノベーション フォーラム2017」を開催 しました

沖縄産学官イノベーション創出協議会では、県内産学官関係機関の連携促進を目的に「沖縄産学官イノベーションフォーラム2017」を8月31日に開催致しました。当日は県内支援機関や企業から119名が参加し、本フォーラムでは、同協議会会長の屋宏典（琉球大学副学長）からの協議会の紹介や国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）九州センター坂本所長から産総研の取組に係る基調講演が行われました。個別事例発表では県内大学及び企業から、「ものづくり・IT」「健康バイオ」

「産業人材」分野における研究シーズや先進的・革新的な研究事例の紹介がありました。その後、講演者を含めた交流会では意見交換も行われ、参加者から、産総研との連携についての期待の声やマッチング及び情報交換の機会を増やして欲しいとの要望が寄せられました。

今後も、参加者からの意見を踏まえた上で、このようなイベントや各

部会の活動を通して沖縄県内の産学官連携の促進に努めて参ります。



【フォーラムの様子】



【イノベ協議会体制図】

12

経営支援セミナー

経済産業部消費税転嫁対策室では、消費税の転嫁拒否の未然防止、違反行為への迅速な是正を行ってまいります。その一環として、中小企業者を対象としたセミナーの開催や講師の派遣を行っております。

10月17日（火）に、沖縄商工会議所が主催する「経営支援セミナー」中小企業・小規模事業者の利益を守り、売上増を図る」にて、消費税転嫁対策特別措置法で禁止されている消費税の転嫁拒否等の行為の概要やこれまでの違反事例などについて説明しました。

今回は、その他に、経済産業部で取り組んでいる施策を紹介させていただき、「経営力向上計画作成に向けた支援」「営業秘密と知財戦略の重要性とその支援」について、併せて説明しました。

経済産業部消費税転嫁対策室では、引き続き、消費税の転嫁拒否の未然防止等を目的に普及・啓発



セミナーの様子

13

牧港高架橋の最後の 橋げたを架設しました

一般国道58号浦添北道路（宜野湾市宇地泊・浦添市港川）の牧港高架橋において、巻き上げ機による架設では沖縄県内で最大級の橋桁（長さ45m、幅約15m、高さ3m、総重量390t）の架設が平成29年8月28日（月）に行われました。

牧港高架橋は張り出しプレストレストコンクリートの桁間に鋼桁を設置する、沖縄で初めての工法です。支間長190mのうち鋼桁部は50mとなり、両側4.5m部分は接合桁と称され、鋼桁内にコンクリートが充填されています。

当初は平成29年8月17日架設予定でしたが、迷走した台風15号の影響で10日近



架設中の状況（平成29年8月28日撮影）



工事中の浦添北道路（牧港高架橋）

くも遅れ8月28日に無事架設完了しました。

当日は現場見学会を開催し、工事関係者や地域住民など約300名が見届けるなか、架設開始からおおよそ2時間半で橋桁が取り付けられました。

本体ブロック架設が完了するまでの間航路が閉鎖された宜野湾漁港の組合長をはじめ組合員の皆さんには大変ご協力頂き感謝申し上げます。

14 「宮古島くるりんバス」の実証運行について

宮古空港の利用者は年々増加しており、平成28年度は154万人と3年連続で過去最高を更新しました。また、宮古島へのクルーズ船寄港回数は、平成28年度89回、平成29年度は138回を予定しています。このような状況下、クルーズ船寄港時には、二次交通の確保が必要ですが、訪日外国人旅行者への供給を行う事により、地域住民や観光客・ビジネスマンなどの移動手段の確保が出来ない現象が発生するため、空港と中心市街地間の移動手段の確保が重要な課題となっています。

今般、観光庁の平成29年度実証事業として、地元タクシー各社と協力し、乗合タクシー「宮古島くるりんバス」の実証運行を実施することとなりました。

運行期間は9月1日から11月30日までの3ヶ月。運行ルートは宮古空港と中心市街地及び平良港を結ぶ「北ルート」と「南ルート」で一日8便運行。時間帯は午前9時～午後5時、運賃

は一律500円となっています（学生（高校生まで）・運転免許証返納者・障がい者は一律300円、乳幼児は無料）また、運行ルート上であれば、どこでも乗降可能です。

3ヶ月の実証運行の結果を検証し、12月以降の本格運行に向けた検討を行うこととしており、「宮古島くるりんバス」の試験導入で空港利用者などの移動手段の確保や利便性向上が期待されます。



「宮古島くるりんバス」チラシ



乗降の様子

15 平成29年度 船員労働安全衛生月間の実施

～元気に乗船、笑顔で下船、皆で取り組むゼロ災害～

本年度も船員災害の減少と船内における安全で快適な作業環境、居住環境の実現を目指して9月1日～30日の1ヶ月間を船員労働安全衛生月間とし、「元気に乗船、笑顔で下船、皆で取り組むゼロ災害」をスローガンに月間中、船員災害防止大会を初めとする各種の行事を展開しました。

月間初日の9月1日（金）に、那覇第2地方合同庁舎において第44回沖縄船員災害防止大会を開催し、船員労働安全衛生月間がスタートしました。

本大会には約80名の船員、海事関係者が参加し、家族も一体となって船員災害・疾病の減少目標の達成を目指すことを誓った大会宣言がなされました。その後、「株式会社ハタワークス」の金城朝野さんによる「働く人のメンタルヘルス」という演題で、参加者同士コミュニケーションをとりながらの講演が行われました。



大会風景



大城氏による講演

また、大会会場には作業用救命衣、救命浮環など、船員の保護具の展示場も設けられ、年々高機能になっていく保護具に参加者の関心が集まりました。

このほかにも、月間中には訪船指導も行われました。船員は長期間に渡り特殊な環境で働くため、船内の安全・衛生環境の整備が重要となります。そのため、訪船指導員が県内各港に停泊中の船舶を訪れ、安全面として海中転落事故の防止措置や床面などの転倒防止のための安全措置、衛生面として飲料水の管理状況や医薬品の備付け状況などの点検指導を行いました。

仕事の窓 16

【運輸部】

安全な車社会のために （街頭検査について）

みなさんは、車で道路を走っている、ブレーキランプやウインカーが点灯（点滅）しない車を見たことがありませんか？

道路は自分の車だけでなく、さまざまな車両（乗用車、大型トラック、オートバイなど）が走行しています。自動車が、道路を安全に走行し、交通事故を防ぐためには、ブレーキランプやウインカーなどの装置がしっかりと作動することが必要です。陸運事務所では、警察などと協力して、実際に道路を走行している車両を検査する「街頭検査」を行っています。



車両検査の結果、保安基準に適合しない（おそれのある）車両については、整備命令を発令し、改善を促すほか、使用者に対して点検整備の重要性を周知します。

平成28年度は、離島を含む県内各所で59回の街頭検査を実施し、2888台の車両を検査しました。

なお、街頭検査は、不正改造車を排除することも目的に含まれています。

今後も、安全な車社会の実現に向けて、努力していきます。



内閣府だより

平良港国際クルーズ拠点整備事業起工式を開催

平成29年9月30日、宮古島の平良港において「国際クルーズ拠点整備事業」の起工式が、内閣府沖縄総合事務局主催で開催されました。

平良港ではクルーズ船が、平成27年に13回、28年に86回寄港し、過去最多を記録する一方、クルーズ船の専用岸壁がないことから、5万トン級までの船舶は貨物用岸壁で受入れ、それを超える船舶は沖泊をして小型船に乗り換えざるを得ず、受入環境が十分整っていないのが現状です。

そのような中、平良港は平成29年7月26日に「国際旅客船拠点形成港湾」に本部港などとともに全国6港のひとつとして、国土交通大臣の指定を受けました。これは、政府が「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」という目標の実現に向けて行っているもので、国土交通大臣が指定する港湾において、旅客ターミナルビル等に投資を行うクルーズ船社に岸壁使用の優先権を認める新しい制度です。

本事業は、直轄事業としてクルーズ専用岸壁(水深10m・延長370m)、岸壁前面の泊地、背後の臨港道路を整備するとともに、クルーズ船社であるカーニバル社が旅客ターミナルビルを建設するものであり、事業完了後には最大14万トン級のクルーズ船が係留できるようになります。

起工式では、島尻内閣府大臣補佐官が江崎鐵磨沖縄担当大臣の挨拶を代読し、「本事業により、観光客の一層の増加が期待される。内閣府としては沖縄観光ステップアップ戦略2017において、クルーズ受入体制を強化し、観光客の満足度・安全性の向上、着地型観光の実現に取り組む」と述べました。



平良港クルーズ岸壁完成予想パース
(提供:平良港湾事務所/エムテック)



起工式(工事の無事を祈る儀式)の様子

「沖縄の特区・地域税制活用Q&A」を作成しました



「沖縄の特区・地域税制活用Q&A」表紙

沖縄の特区・地域税制は県内全域が対象であり、幅広い事業が対象となるもので、全国に類を見ない優遇措置があります。

- ①特区において新設法人の所得を最大40%、10年間控除
 - ②設備投資額の最大15%を税額から控除(4年間繰越が可能)
 - ③設備投資額の最大50%を特別償却
- ※①～③は重複して適用することはできません。
※②、③については既存の県内事業者の方も活用できます。

加えて、事業税や不動産取得税の免除、固定資産税の5年間免除等、地方税の措置もあります(地方税のみの適用も可能)。

内閣府ではこの度「沖縄の特区・地域税制活用Q&A」を作成しました。特区・地域税制を活用する際のガイダンスとなるものです。インターネット上でも公開しておりますので、ぜひご覧ください。
(「内閣府 沖縄特区」でご検索ください。)

また、沖縄県産業振興公社に、本税制について気軽にご相談できる「沖縄特区・地域税制活用ワンストップ相談窓口」を開設しております。
(電話相談も受け付けています⇒TEL:098-894-6377)

税理士を含めた担当者による充実した相談体制を整えていますので、ぜひご利用ください。(税理士の派遣は火・金曜日)

将来の船員確保・育成のために 就業体験、体験学習を実施

Point 沖縄若年内航船員確保推進協議会(事務局:沖縄総合事務局運輸部)は、若年内航船員の人材確保・育成のため、就職段階の高校生、進路段階の中学生、理解醸成段階の小学生、各段階に応じたバリエーションのある取組を行っております。

【運輸部】

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興などに欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う人的基盤たる船員の安定した確保育成が必要不可欠です。特に船員供給源が国内に限定されている内航海運においては、年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割と高い状況になっており、数年後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくためには、若年の内航船員の確保が喫緊の課題になっています。

沖縄県においても全国と同様な傾向があるため、沖縄若年内航船員確保推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つきっかけを作り、将来、内航船員の職業を選択してもらうため、段階に応じた各種取組をおこなっています。

就職段階の高校生に対しては夏休み期間の7月24日～8月27日に沖縄水産高校及び宮古総合実業高校、八重山商工高校及び八重山農林高校の生徒を対象に県内の内航船(貨物船、旅客フェリーなど)で「就業体験(インターンシップ)」を実施しました。

進路段階の中学生に対しては同じく夏休み期間の8月3日に沖縄



体験学習(エンジン見学)



体験学習(船内見学)



体験学習(操船シュミレーター)



就業体験(曳船)



就業体験(曳船舶橋)



就業体験(フェリー機関室)

水産高校及び実習船(海邦丸五世)において、県内の中学生及び保護者、教師などを対象に船員の仕事についての説明、学校施設の見学、実習船「海邦丸五世」の見学、将来の沖縄を担う船員になるために県内の水産高校でどのような資格を取得することができるのかなど「体験学習」を実施しました。

また、12月には小学生対象の「海事教室」も実施予定で、今後とも、引き続き海事思想の普及・啓発活動を含め、若年船員の人材確保・育成に関する取組を積極的に推進していきます。

ご案内 消費税の転嫁拒否行為に関する 説明会・相談会

お知らせ
Information

《開催日時など》

○説明会

1日 時：平成29年12月1日(金)
14:00～15:00

2場 所：那覇第2地方合同庁舎2号館
(那覇市おもろまち2-1-1)
内閣府沖縄総合事務局 2階
共用会議室D・E

3内 容：消費税転嫁対策特別措置法
及び転嫁拒否などの行為の
概要やこれまでの違反事例
(勧告・指導事例)について
説明を行います。

4定 員：60名(無料、先着申し込み順)

※説明会終了後、相談会を開催します。

《消費税転嫁拒否などの禁止行為》



取引先に対して
転嫁拒否して
いませんか？

取引先から
転嫁拒否されて
いませんか？

取引先の免税事業者に
消費税を払わないのは
法律違反だよ。

消費税転嫁拒否行為は違法です！

公正取引委員会では、事業者向け説明会や
移動相談会を開催し、消費税転嫁対策特別
措置法の周知活動を行っています。

消費税を転嫁拒否されて困っている事業者
の皆さま、自社の行為が転嫁拒否行為に当
たるのか確認したい事業者の皆さま、どう
ぞお気軽にご参加ください。

申込み・問い合わせ先

総務部公正取引室 金沢、仲村

☎098-866-0034

11月は「建設業取引適正化推進月間」です ～みんなで守る適正取引～

毎年11月は、「建設業取引適正化推進月間」として、国
土交通省及び都道府県において、建設業の取引の適正化
を強力に進めるため、建設業法等の法令遵守に関する活
動を集中的に展開しています。

その活動の一環として、沖縄総合事務局では、建設業者
等を対象とした法令講習会の開催や建設会社への立入検
査を行い請負契約内容や下請取引の実態調査に加えて、
社会保険等の加入状況や法定福利費を内訳明示した見積
書の活用状況、安全衛生経費の負担状況の確認といった
調査を実施し、建設業の健全な発達を促進します。

なお、下記の窓口において建設業の法令遵守等に関す
る様々な相談や通報を受け付けております。

駆け込みホットライン
(設置：開発建設部 建設産業・地方整備課)
窓 口 Tel 0570-018-240
(受付は、平日の10時～17時まで)



11月1日～11月30日
11月は建設業取引適正化推進月間です
主催 国土交通省、都道府県
協賛 公益財団法人 建設業適正取引推進機構

人事異動

お知らせ
Information

内閣府審議官



幸田 徳之 こうだ のりゆき

出身地：大阪府

略 歴：昭和57年 総理府入府 内閣府賞勲局長を経て現職

趣 味：日本酒など

抱 負：沖縄振興に携わるのは30数年ぶりです。微力ではありますが、沖縄総合事務局をは
じめ関係の皆様と力を合わせて沖縄の発展に寄与していきたいと思ひます。

政策統括官



日下 正周 くさか まさちか

出身地：愛知県

略 歴：昭和60年 総務庁入庁 内閣府大臣官房政府広報室長を経て現職

趣 味：音楽鑑賞、読書

抱 負：沖縄にとって何が一番良いか、ということを常に考えながら仕事をしていきたいと
思っています。

沖縄振興局長



北村 信 きたむら まこと

出身地：佐賀県

略 歴：昭和59年 大蔵省入省 財務省理財局次長を経て現職

趣 味：街歩き、映画鑑賞

抱 負：沖縄振興局長総務課長として勤務以来、7年ぶりに沖縄振興を担当することとなりま
した。皆様方と力を合わせて沖縄の発展に尽力して参ります。

官房審議官



馬場 竹次郎 ばば たけじろう

出身地：兵庫県

略 歴：昭和63年 自治省入省 総務省大臣官房総務課長を経て現職

趣 味：旅行、ジョギング、水泳

抱 負：振興法制の見直しや沖縄振興一括交付金(ソフト)の創設にともに取り組んだ沖縄
のみなさんと、また、一緒に仕事ができることを楽しみにしております。

総務部長



後藤 一也 ごとう かずや

出身地：千葉県

略 歴：平成5年 総務庁入庁 内閣府大臣官房参事官(政府広報室担当)を経て現職

抱 負：沖縄総合事務局の扱う業務が多岐にわたる中、初の沖縄勤務で新しいことばかりで
すが、沖縄振興に貢献できるよう努めます。

開発建設部長



坂 克人 さか かつひと

出身地：大阪府

略 歴：昭和62年 運輸省入省

国土交通省航空局航空ネットワーク部空港技術課長を経て現職

抱 負：一年振りに沖縄に戻りました。観光客が急増する中、インフラ整備を着実に進め、
沖縄の経済発展に貢献して参ります。